



アートの中で、響き合う。印象派から現代アートまで約10,000点のコレクションを展示

公益財団法人ポーラ美術振興財団は、2002年9月神奈川県箱根仙石原にポーラ美術館を開館しました。総数約10,000点におよぶポーラ美術館のコレクションは、ポーラ・オルビスグループのオーナーでありました鈴木常司(1930-2000年)が40年余をかけて収集した美術作品を中心としたものです。コレクションの中核は、19世紀フランス印象派やエコール・ド・パリなどの西洋絵画ですが、コレクションの幅は、日本の絵画、現代アート、東洋陶磁、ガラス工芸、化粧道具など多岐にわたります。

また、「箱根の自然と美術の共生」をコンセプトに掲げた森に溶け込む鑑賞空間も特徴です。外観は、地上部分の高さを周囲の木々にあわせ、建物のほとんどを地下に配置しています。展示室は印象派の作品が美しく鑑賞できる「7月のパリの夕暮れ」を再現した照明を採用しています。手つかずの自然と、人の手掛けた造形。ふたつがひとつになり織りなす、美の世界をお楽しみください。



施設概要

公益財団法人ポーラ美術振興財団 ポーラ美術館
〒250-0631 神奈川県足柄下郡箱根町仙石原小塚山1285
電話番号:0460-84-2111

ポーラ美術館